

審 議 会 会 議 録

会議名称	平成27年度 第1回伊達市立図書館運営協力会		
議 題	(1)伊達市立図書館運営協力会設置要綱について (2)伊達市立図書館概要について (3)伊達市立図書館運営協力会提言内容等について (4)平成27年度伊達市立図書館運営協力会議題及び開催日程(案)について		
開催日時	平成27年9月3日(木) 14時00分～15時30分		
場 所	伊達市立図書館 2階 視聴覚室		
出席者	伊達市立図書館運営協力会委員 10名(欠席者0名) 事務局(伊達市教育委員会教育部図書館)		
	所管部課名	伊達市教育委員会教育部図書館	
公開 非公開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	0名
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
<p>【会議の概要】 新たな任期の最初の会議の開会に当たり、この度選任された委員10名に対し、委嘱状が交付された。 教育長挨拶、委員・事務局紹介に続き、会長に本多氏、副会長に小林氏がそれぞれ選出された。</p> <p>【議 事】 (1)伊達市立図書館運営協力会設置要綱について (2)伊達市立図書館概要について (1)と(2)について事務局より一括説明。</p> <p>会 長～私の感覚的にいうと、協議会にすると図書館法に基づく協議会規則に縛られることが多いので、伊達市独自の組織である運営協力会として難しいことは考えず、図書館の利用者として一市民の目線でわかりやすく話し合うことが必要であると受け取っていた。協力会設置要綱もそのように作っていると理解している。堅く考えず図書館への要望を出していただきたい。</p> <p>図書館概要の方についても説明があったが、どれだけ市民が図書館に来てどれだけ借りていってくれるのか、実績をどうするかが一番である。現実問題としてなかなか上がっていかない。私は長いこと見ているが、図書館そのものはかなり努力し、相当いろんなことをPRしているしボランティアの関係も取り組んでいるが、効果がなかなかあがって来ないのが難しいところである。とりあえずいろいろやってみて、まず市民に足を運んでもらい集まってもらうことが一番だという登別図書館館長のお話が印象に残っている。そういう視点で話し合っていただきたい。</p> <p>委 員～図書館は意外と利用されているという印象だが、この伊達市だけの資料では成果・効果が見えづらい。1つの目安として利用者数等細かい増減が載せてあるが、他の市町村と比較してどうなのか。同規模の自治体あるいは人口千人当たりで比較して多いか少ないかが目に見えるようにしていただきたい。</p> <p>事務局～他市の状況を表にまとめることはできると思うので、人口規模が近いところをピックアップして伊達の状況と比較できるようにし、今年度中に本協力会の中でお示ししたい。図書館概要は市民・他館向けなので、協力会の中での委員向けの資料としたい。</p>			

会 長～視察などに行くと感じるが、レベルの違いがあるので、同じレベルの市と比較できるものをご用意いただきたい。

委 員～図書館活動のPRは、市の広報誌以外にどのようなものがあるか。

事務局～広報だて以外に市のホームページを活用している。平成27年2月から“だてキッズ”という子ども向けコーナーを開設し、おすすめ本、新着本、行事等を掲載して毎月更新している。児童館等にも連絡して周知している。館内表示の掲示の他、今年フェイスブックを1回だけ利用した。いろいろなツールを使って今後もPRしていきたい。

会 長～PR活動はできる範囲でよくやってくれているが、市民になかなか行き渡らない。難しいが努力を続けていくしかない。

委 員～各小中学校に新刊本等の周知はしているか。全員に配るのは難しいので、各学校や子育て支援センター「えがお」に紙を配付し、掲示板の一部を図書館として利用させてもらったらどうか。図書館に行ってみようという気になるのでは。紙の方が見やすいと思う。

事務局～新たなことを始めるのは難しいが、現在作っているものを活用し配付することは可能である。

会 長～具体的なことは検討していただくとして、一番入りやすく拡げやすいのは学校である。図書館と学校図書担当教師との連携を深める方法として、今の意見を活用していただきたい。

(3)伊達市立図書館運営協力会提言内容等について

事務局より説明。

会 長～過去にアンケートを実施していますね。あと今までは委員任期2年間の1年目に会長・副会長が教育長・部長に口頭でお話しし、2年目に提言書としてまとめて報告している。1年ごとにまとめるよりもこのやり方が合理的である。

委 員～どれだけ実りがあるかが大事だと思う。まず図書館が実施した事を協力会に報告してもらい、成果については2年かけて検証した後でまとめた方が良い。

事務局～もしよろしければ、次回の協力会の中で26年度提言内容と結果について具体的に詳しくご説明したい。

会 長～今まで提言はしたけれど、その後のことはあまり話していなかったもので、次回具体的な詳しい説明を願いたい。

委 員～提言は2年ごとにまとめるということだ、図書館の増改築等、ものによっては毎年声をあげていくことが大事ではないか。開館時間の延長等は提言を受けてやったものであるなら、今年アイデアを出したものは検討して来年実施するというのが本来のあり方ではないか。

委 員～提言は毎年行うが、1年目は口頭対話で、2年目に集大成し1枚の紙にまとめるということだと思う。

会 長～この件については次回の会議で改めて検討することとしたい。

(4)平成27年度伊達市立図書館運営協力会議議題及び開催日程（案）について

事務局より説明。

事務局～今年度第3回の会議として、全国的に読書のまちとして有名な恵庭市立図書館の視察について検討し案を作ったのでご協議願いたい。恵庭市立図書館には全国から視察が来るそうであり、平成25年にブックスタート事業の研修として行ったことがあるが、図書館運営協力会としては行ったことはない。

委 員～前回の任期のときには1年目に色々話をして2年目に函館中央図書館に行っても大変良かったが、今回も1年目に色々勉強して2年目に行っても遅くはないのではないか。まず現状の図書館をどうすべきかよく勉強するのが先ではないか。

事務局～元の恵庭市長は図書館の館長をされていたことがあり、学校図書と市立図書館の連携がうまく出来ているので、事務局から提案させていただいた。

委員～図書館の運営のノウハウを学べれば役立つのではないかと。できるのであれば、恵庭市の図書館運営協議会の方にお会いして話を聞くのも良いと思う。

委員～2年間勉強させていただいて函館図書館に行き素晴らしいと思ったが、提言する立場で伊達の現状を考えると惨めになった。その後何かできているかというとなかなかそういう方向には発展できていない。伊達でも新しいバス路線が出来たが、体育館利用者のためには都合がいいけれど、図書館に来られる方にとっては時間が中途半端でためになっていない。もう少し深く勉強してから視察研修に行くのがいいと思う。

事務局～昨年度の函館中央図書館研修は、施設が新しい図書館を見に行くということだった。恵庭は平成4年建設で建物としては古い方であるが、ブックスタート事業などで賞を得ており、全国的にも高いレベルで色々取り入れている。人口・職員数・予算等は伊達と比べてレベルが異なるが、参考にして取り入れられることがあればと提案させていただいた。協力会としては平成19年に苫小牧市、平成22年に石狩市、北広島市、千歳市、平成26年に函館に行っている。恵庭はお話を聞くには良い場所だと思う。

事務局～恵庭は組織が変わっていて、学校図書の司書も図書館とつながって連携して運営しているということなので、その仕組みを見ていただいて提言をいただくのもいいと思う。

委員～以前ブックスタートの研修に行き、いい影響を与えているというお話を伺い、恵庭はまた行ってみたいと思っていた。

会長～建物そのものではなく運営の仕方を見たいということである。せっかく行くのであればただ行くのではなく、こういう点をお聞かせ願いたいという要望事項をまとめて行ったらどうかと。あと向こうの運営協議会の方と意見交換という形でお話が出来ればと思う。必ずしも全員参加しなければという訳ではない。

委員～2年前にブックスタートの研修で恵庭に行ったときは図書館を予備知識なしで見したが、ボランティア活動が印象に残って気になってもう一度見たいと思っていた。絵本の修理の方等がいると言われていたが、伊達の状況はどうなっているか。

事務局～現在6名が活動中で、本の修繕は1名、残りは配架をしていただいている。ボランティアの人数が増えてくると決めなくてはいけないことが出てくるので、恵庭でお話を聞ければ参考にできると思う。

会長～第3回は恵庭視察とし、次回第2回の話し合いの中で視察したい内容を出していただき話し合った後、先方と連絡していただくこととしたい。提言の内容も合わせて協議したい。

その他何かございますか。

委員～次回の意見交換について、伊達市の図書館は市民目線としてどういう課題があるか、図書館としてどういう課題があると認識しているか、ということを明確にすると意見を出しやすいと思う。

事務局～開催日程案をつくるにあたり、第2回から4回までは何を協議するべきか決めかねていたため、図書館運営に関する意見交換として提案させていただいた。今回出てきた恵庭視察の内容について、提言の持ち方について、平成26年度提言の内容について、が話し合いの内容となると思う。

事務局～市民にどう有効活用してもらうかが最終的な課題となる。施設が古いから人が来ないではなく、もっと工夫すれば来るかも知れない。そのために提言をいただいているということである。他に学校図書との連携もある。

会長～議事についてはよろしいですね。その他について事務局からお願いします。

【その他】

(1) 伊達市子どもの読書活動推進計画について

事務局～報告という形で説明する。平成25年に図書館が作成した案をこちらの協力で協議し意見をいただいたものに基づき、北海道の第3次計画の内容に沿って修正して素案を作成した。平成13年に国が「子ども読書活動の推進に関する法律」を定め基本計画を公表し、それにならって北海道が平成15年度に第1次計画を、その後第2次、第3次計画も策定した。各市町も北海道にならって計画を策定し、現在全道35市中28市で策定を終えている。伊達市もかなり遅くなったが、今年度策定する。

会 長～後で目を通していただきたい。報告事項なので次にまいりたい。

(2) 平成27年度伊達市小中学生読書感想文感想画事業における読書感想文第2次審査員の依頼について

事務局～昨年度から読書感想文第2次審査を退職者教職員、ボランティアグループ、図書館運営協力会にお願いし、実施している。今年度も協力会から5名程度審査についてご協力をお願いしたい。正式な依頼文は次回までに会長にお渡しするので、委員を決めていただきたい。

会 長～よろしいですね。最後に、次回会議日程についてお願いしたい。

(3) 次回日程

事務局～次回日程は平成27年10月8日（木）午後2時からである。よろしくお願ひしたい。

会 長～みなさま方から他に何かございますか。なければこれにて会議を終了します。ご苦労様でした。

【閉 会】